

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	児童館・児童センター(63館)	
2 指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団	
3 指定期間	令和4年4月1日～令和7年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和4年度 1,088,020人(前年度比 106.8%) 令和3年度 1,019,167人 令和2年度 868,143人	
	《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 2,008,159千円(2,022,226千円) ・ その他市が負担した費用 0千円(0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円(0千円) ・ その他収入 0千円(0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施	

二 管理運営に係る評価(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。運営団体作成のマニュアルに加え、水の森児童館危機管理行動マニュアルも整備している。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、子育て支援クラブをはじめとする地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。	19/19

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>(児童健全育成事業)町のお宝発見やこども農学校など、地域資源を活かした行事を開催しました。子どもたちが主体的に楽しみながら地域を知り、地域で生きる力を培う機会としました。</p> <p>(子育て家庭支援事業)親子どうしの交流行事や地域の方々を交えた親子運動会など、地域で子育ての喜びを分かち合える機会を設けました。また、新規事業として「児童館子育てセミナー」を開催しました。児童館利用者に即した内容となるよう各区を会場に様々なテーマで講師をお迎えしました。各回とも市内全域から参加があり、継続的な開催を望む声をいただきました。</p> <p>(地域交流推進事業)多くの館では、3年ぶりの開催となった館まつり。子育て支援クラブや民生委員、保護者や子どもスタッフなどが協力し合い、地域をつなぐ行事の再開を喜び合う姿がありました。</p> <p>(放課後児童健全育成事業)体を動かす遊びを増やし、館庭や市民センター体育館、地域の公園等を活用し、日常的な運動遊びの環境づくりに努めました。情豊かな児童の姿は、コロナ禍後の健全育成のあり方を見つめ直す機会ともなりました。</p> <p>(その他)児童館合同行事として、「第9回児童館フェスタ～笑顔ひろがる遊びのWA!～」を開催し、市内外から多くの親子が集い、笑顔溢れる賑わいとなりました。他団体運営2館も企画参加いただき、組織を越えた職員の主体的な活動の場となり、多様な職員との協働による実践を通じた人材育成の機会にもなりました。その他、「第6回児童館フォーラムin仙台～子どもの豊かさを育む児童文化～」を開催しました。仙台の児童文化史にスポットをあて特別講演や6つの分科会を設け、県内外の職員や各方面で活動されている方々の自己研鑽や児童文化財の継承の機会となりました。以上のように、各館における事業と組織や地域を越えた事業との相乗効果により、児童館機能の向上や人材育成を図り、よりよい事業を展開してまいります。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>施設の管理運営については、指定管理者が策定した全館共通の各種マニュアル等に基づき適切に行われ、いずれの館も必要な水準を満たしている。施設や設備の維持管理も日々確実に行われており、利用者が安全安心かつ快適に過ごせる環境を整えている。また、いずれの館においても全ての事業について安定したサービスを提供しつつ、新規利用者の増加や利用者の満足度向上に向けて、常に新たな行事等の検討や課題点の改善等に取り組んでいる。今後も、それぞれの地域特性や子どもの興味関心を捉えた日常プログラムや行事の展開等、更なる児童館事業の充実が期待できる。</p> <p>児童健全育成事業では、各児童館において、地域の実情に応じて感染対策を引き続き行いながら地域人材や周辺環境などの資源を有効に活用した事業を展開している。運動遊び、自然体験、社会体験、近隣の施設との連携事業等を通して、地域交流や世代間交流を図り、様々な体験を通して子ども達が心身ともに豊かに成長できる機会を多く作り、地域の子どもにとって居心地の良い居場所になるよう努めている。</p> <p>子育て家庭支援事業では、行事開催や日々の利用を通じて、乳幼児の情緒や健康な心身の発達を促すとともに、保護者同士の交流や情報提供、相談の場等を提供している。また、子育て支援施設、地域の諸団体、行政機関等と連携し子育て家庭を見守る支援ネットワークの構築に取り組んでいる。</p> <p>地域交流推進事業においては、地域の多世代が交流できる児童館の特性を活かし、多様なプログラムを提供している他、近隣児童館・市民センター等と連携した取組みや親子が地域とつながる機会となる土曜日事業の充実にも努めている。</p> <p>放課後児童健全育成においては、子どもの主体性を尊重した育成支援を基本に、子どもの自主性、社会性及び創造性を育む様々な遊びや様々な体験の機会を提供し、子どもが地域と関わりながら育つ環境づくりに努めている。また、子どもの様子等を保護者へ適切に伝え家庭と連携した健全育成に努めながら、一人ひとりの子どもの特性に応じた適切な支援等を推進している。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課